

▼アジア研究会 2009年1月例会 堀田善衛 『インドで考えたこと』1957年刊『その歩みがどんなにのろかろうがなんだろうが、アジアは生きたい生きたいと叫んでいるのだ。西欧は死にたくない、死にたくない、と云っている。1955年 AA 会議 インドネシア・バンドン もともとはネルーと周恩来が国境問題の会談が『平和5原則』に結実 ①領土・主権の相互尊重 ②相互不可侵 ③相互内政不干涉 ④平等互惠 ⑤平和共存 読書会で(2008年78冊目)  
インドの人口 1957年の4億人⇒2018年13億人以上

1982年9月ベニスでインド人教授『30年~40年後のインドを見てくれ』

2013年2月インド旅行 貧しさ・カースト

2015年8月3度目の台湾へ 李登輝と日本 2016年3月例会

台湾への中国人観光客 2015年418万人 2017年273万人 2016年9月例会  
カンボジア・アンコールワット旅行 フンセン首相67才 30年間政権に

▼トルコ共和国 オスマントルコ帝国 1300年~1922年 共和国誕生 1923年  
ケマル・アタチュルクは政教分離の世俗主義、民主主義を実行。スンニ派 時差  
6時間もどす 面積78万km<sup>2</sup> (日本の2倍) 人口7600万人 人口密度88人/km<sup>2</sup>  
(日本335人/km<sup>2</sup>) GDP世界17位 一人当たりGDP世界66位

1890年9月トルコのエルトゥールル号が事故(和歌山県串本沖) 69人救助  
500人以上亡くなる 5年ごとに慰霊祭

クリミア戦争1853~1856年 露土戦争1877~1878年 日露戦争1904~1905年  
(日本の勝利にトルコ国民は狂喜) 第1次世界大戦でドイツと組んだため敗戦  
サイクスピコ条約(1916年)⇒中東をイギリスとフランスが各々直接統治・  
勢力圏に4分割して支配。NATOに加盟(1952年)

1985年イラン・イラク戦争(テヘランの日本人215名をトルコが救助) 1999年  
トルコ大地震 2011年東日本大震災 フセイン体制の崩壊(2006年12月)

⇒スンニ派がIS化し状況が悪化。

▼エルドアン(64才) イスタンブール市長時代に反政教分離の演説で失職後、  
2003年国会議員に、首相を経て2014年大統領になり今年再選。巨大モスクを  
建築中。クルド対策に中心地ディヤルバクルにも高層マンション・ショッピング  
モールを建築中。シリア難民受入れ350万人。エルドアンは過去の政権が手を  
差し伸べてこなかったマイナーの人々を取り込んできた。EU加盟申請中。

2016年のクーデター未遂事件で16万人を拘束(軍人、警察、教師など公務員、  
ジャーナリストら)し強権政治へ。テロ組織首謀者ギュレン師をかくまい、クル

ドを支援するアメリカを非難し対立。シリア内戦でイラン、ロシアに接近。カタールにトルコの軍事基地あり

海外からトルコへの投資の 80%は欧州で、その引き上げが加速。外貨獲得の主産業は観光産業。1年間に 30%以上リラが下落し、1リラ 40 円崩壊 インフレ率 16% 失業率 12%超えという状況で、次期 GDP はマイナス？

エルドアン将来を見据えたインフラ投資による成長戦略。カタールからの 150 億ドル直接投資。2016 年第 2 海底トンネル（自動車専用）をトルコと韓国の JV で完成。イスタンブール新空港が 10 月に完成。本格化は 19 年から現空港は将来閉鎖へ。ロシアと天然ガスパイプライン建設に合意。

▼イラン、イラクの台頭 『オスマントルコ帝国の栄光』 トルコとカタールの同盟、サウジの苦境（脱石油、アショギ事件、原油価格の推移 米中貿易戦争 EU とイギリス

▼カタール 1971 年イギリスから独立 人口 215 万人 アルジャジーラ 首相がポケットマネーで設立 人口の 13%がカタール国籍 他は外国籍（出稼ぎ）カタールはシリアの反政府勢力を支援。カタールとサウジアラビア等の断交 ドーハの悲劇 1993 年 10 月

▼オマーン 人口 460 万人 AIIB が火力発電所の建設に融資。三井物産が受注し 中国企業が下請け。 一帯一路の見直しも

